

私たちの歩み

全日本手をつなぐ育成会

本会ができたきっかけは、3人のお母さんが「知的な障害」のあるわが子の幸せを求めて、全国の仲間の親たちに、手をつなぎ施策の充実を求めようと呼びかけたことからです。その呼びかけに答えて、親や関係者が立ち上がり、47都道府県すべてに「手をつなぐ育成会」が結成され、その連合体が「全日本手をつなぐ育成会」になりました。

山形県手をつなぐ育成会

山形県手をつなぐ育成会は、昭和29年山形市立第五小学校に開設された精神薄弱児の特殊学級の親たちと、学区外から入級希望者があつたが迎え入れることができなかった児童のために開設した「日曜学級」の親たちが歩み寄り「親の会の結成準備会」（昭和31年）が結成され、昭和32年に「山形市手をつなぐ親の会」が発足、同年に「鶴岡市手をつなぐ親の会」も発足し、その後各地区にも親の会が生まれ昭和34年に「山形県手をつなぐ親の会」が発足しました。昭和40年に「社団法人山形県手をつなぐ親の会」となり、昭和44年に施設経営のための法人「社会福祉法人山形県手をつなぐ親の会」（山形県精神薄弱者育成会）を設立、平成19年に「社会福祉法人山形県手をつなぐ育成会」と改称、平成22年に本人・家族のための啓発活動を行う組織体に、「一般社団法人山形県手をつなぐ育成会」として独立しました。施設経営の法人は、米沢市の各施設は法人名は変わりますが、現在の「社会福祉法人山形県手をつなぐ育成会」を引き継ぎ、天童ひまわり園と友愛園は各々新法人を立ち上げ独立しました。